

VI-4 日本の教育システム

1. 義務教育

日本の教育は小学校から中学校までの9年間が義務教育となっています。この間は学費・教科書代は無料で、定められた公立学校に行くことができます。ただし、教科書以外の副教材や学校での旅行の費用などが別に必要です。

＜学校の1年＞	
4月	新学期
7月下旬～8月末	夏休み
年末年始	冬休み（2週間程度）
3月	学期終わり～春休み

日本の国籍をもつ子どもには地元の教育委員会から就学通知が郵送されてきますので、記載の学校へ所定の日に入学することになります。

外国籍の子どもで日本の公立小中学校への入学を希望する場合も、地元の教育委員会へ申し出れば就学通知が受けられます（新入学の場合）。また、以前から府内に住民登録をされて住んでおられる人には、その子どもが学齢期に達すると市町村の教育委員会から就学案内が送付されますので、必要事項を記入して提出します。年度途中の入学も可能ですので各市町村の教育委員会に相談して下さい。

私立の小学校、中学校もありますが、別途授業料などが必要です。詳しくは各学校に問い合わせして下さい。入学試験を受けることが必要なところがほとんどです。

2. 義務教育以降

義務教育を終えると、高等学校があります。高等学校には各科目を広く学習する普通科のほか、工業などの専門知識を主体に学習する学科などさまざまな学科があります。

高等学校に入学する要件などは、府立や市立の高等学校については府・市の高校教育担当課に、私立の高等学校についてはそれぞれの学校に問い合わせして下さい。

授業料を補助する、国の「高等学校等就学支援金」また大阪府の「私立高等学校授業料支援補助金」制度があります。保護者の所得が一定額以下の場合、公立高校、私立高校の授業料が実質無料になります。

3. 児童・生徒の学校生活のサポート

大阪府教育庁では、外国人児童・生徒の学校での生活をサポートするためのホームページ「帰国・とにちどうせいとがっこうせいとかつさほーと」を開設しています。

URL <http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kikoku/index.html>

内容：就学、進路

たいおうげんご にほんご ちゅうごくご かんこく ちょうせんご ほるとがるご すぺいんご ベとなむご
対応言語：日本語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、
えいご いんどねしあご ふうりびんご たいご ろしあご ねばーるご
英語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ロシア語、ネパール語

4. 弁当

ちゅうがっこう きゅうしょく いえ ちゅうしょく も いっぱんてき べんとう
中学校で 給食の ないところでは、家から 昼食 を 持たせることが 一般的です。これを「弁当」
とよびます。弁当を 持たせられない 場合は、校内で パンなどを 買うか、売っている 弁当を 買って
持たせるなどの 対応がありますが、学校の 方針などによって ルールが 異なりますので 先生とよく
そうだん くだ
相談して 下さい。

5. 就学援助制度

しゅうがくえんじょせいど
ぎ ぎきょういくきかんちゅう けいざいてきりゆう こ がっこうせいかつ もんだい えんじょ せいど
義務教育期間中、経済的理由により 子どもの 学校生活に 問題がないよう、援助する 制度です。
がくようひんひ こうがいかつどうひ しゅうがくりょこうひ がっこうせいかつ ひつよう ひよう えんじょ くわ がっこう
学用品費、校外活動費、修学旅行費など、学校生活に必要な 費用が 援助されます。詳しくは、学校
および 市区町村の 教育委員会に 問い合わせ てください。